

じんしんようちえんについて

—教育方針—

仏教の精神を保育姿勢として、次の三つの視点をもって「ともに生きともに育ちあう保育」を実践します。

1. 乳幼児の主体的な生活
2. 遊びを通しての教育
3. 一人ひとりに応じた援助

子どもが本来持っている力を引き出し、さらに生きぬく力へとつなげていきます。

—教育目標—

- ☆ いのちを尊敬する心
- ☆ 柔軟な思考力と確かな判断力
- ☆ 自らを自由に表現できる独創性と創造性
- ☆ 人との関わりの中で育つ協調性と社会性
- ☆ 健やかな心身の発達と基本的生活習慣の確立

子どもたちの中にこれらをはぐくんでいくことを願っています。



じんしんようちえんが大切にしている3つの柱

野菜収穫



散歩

いのちを尊敬する心

いのちをはぐくむ自然環境
自然のいきづかいはいのちの尊さを伝え
豊かな感情とたくましい心をはぐくみます。



カブト虫のお世話



田植え→稲刈り



お絵描きあそび



絵本タイム

知的な発達、

自らが、遊びを創造的に展開することにより
培われています。



文字や数、大きさの違いへの興味



シールあそび

探索あそび



裏山あそび



のびのびと体を動かす遊び

自らの体を使っての遊びは柔軟な思考力と
確かな判断力を培います。



忍者あそび



泥べちゃあそび

